

令和6年度 文部科学省「全国学力・学習状況調査」結果について

文部科学省が本年4月に実施した「全国学力・学習状況調査」結果が、令和6年7月29日に公表されたので、以下のとおり報告する。

今後は、「墨田区学力向上新3か年計画（第3次）」において設定した「全国学力・学習状況調査」に関する短期目標の達成を目指し、各学校において、読解力の向上に資する取組の推進により、児童・生徒の更なる学力向上を目指す。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査事項

(1) 児童・生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

(ア) 対象は、小学校第6学年及び中学校第3学年の全児童・生徒である。

(イ) 教科は、小学校調査は国語及び算数、中学校調査は国語、数学である。

(ウ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、次のとおりである。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

(エ) 調査問題では、(ウ) ①及び②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

イ 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(2) 学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査をオンライン方式により実施する。

3 調査実施日及び調査対象等

(1) 調査実施日 令和6年4月18日（木）

(2) 令和6年4月18日（木）に調査を実施した学校及び児童・生徒数

校種	区分	対象学校数	実施学校数 (実施率)	受検児童・生徒数
小学校	墨田区（区立）	25校	25校（100.0%）	1,613名
	全 国（公立）	18,529校	18,468校（99.7%）	947,364名
中学校	墨田区（区立）	10校	10校（100.0%）	1,237名
	全 国（公立）	9,347校	9,268校（99.2%）	875,574名

受検児童・生徒数は国語の児童・生徒数を掲載している。

4 調査結果

(1) 小学校第6学年

ア 平均正答率

(単位：％)

	国語	算数
墨田区（区立）	70.4	67.8
全 国（公立）	67.7	63.4

イ 学校の平均正答率が、全国（公立）平均正答率以上である学校数の推移

	国語	算数
令和6年度	18／25校（+2.7）	19／25校（+4.4）
令和5年度	19／25校（+2.8）	18／25校（+5.5）
令和4年度	22／25校（+4.4）	19／25校（+3.8）
令和3年度	21／25校（+5.3）	18／25校（+4.8）

墨田区の平均正答率は国語で2.7ポイント、算数では4.4ポイント全国（公立）平均正答率を上回った。また全国（公立）平均正答率を上回った学校数は国語で18校、算数で19校だった。

(2) 中学校第3学年

ア 平均正答率

(単位：％)

	国語	数学
墨田区（区立）	59.4	54.4
全 国（公立）	58.1	52.5

イ 学校の平均正答率が、全国（公立）平均正答率以上である学校数の推移

	国語	数学
令和6年度	5／10校（+1.3）	6／10校（+1.9）
令和5年度	5／10校（+1.2）	4／10校（+1.0）
令和4年度	5／10校（+0.0）	5／10校（-0.4）
令和3年度	5／10校（+1.4）	3／10校（+0.8）

墨田区の平均正答率は国語では1.3ポイント、数学では1.9ポイント全国（公立）平均正答率を上回った。全国（公立）平均正答率を上回った学校数は国語で5校、数学で6校だった。